

令和3年度 連携・協力事業の実施状況について

教員研修専門部会

【プロジェクト名】理科指導力向上研修プログラム

1 プロジェクトの目的・概要

児童・生徒の理科嫌い・理科離れが問題とされる中で、指導する教員の実験の経験不足を補い、理科指導に対する苦手意識、安全性への不安感を低減させるため、教育センター職員と教育学部の理科関係教員が現職教員向けの研修を行ってきた。当初、理科学習における観察・実験を安全に行うための基礎的かつ基本的な事項について理解を深め、知識・技能を習得することを目的としていた。対象者は、小学校教員、中学校理科教員、特別支援中学部理科教員、高等学校理科教員、特別支援学校高等部理科教員まで幅広く設定していた。

2020（令和2）年度、この研修を、中学校・高校の初任者・採用2年目教諭を対象とした「中・高新任理科教諭研修」に変更した。中学校・高等学校の理科教員は、専門性が高いとはいえ、不慮の事故が起こることは十分に考えられること、理科の学習が身近な生活の中に生かされているという実感を得ることが十分できていないことが、生徒の理科嫌い・理科離れが問題とされる背景にあることに焦点化したことが理由である。

また、本プロジェクトでは、「中・高理科観察，実験生物講座及び地学講座」（佐賀の子供達に伝えたい生物・地学領域での観察・実験）も実施してきた。

教育学部教員は、佐賀県教育庁学校教育課の「外部人材を活用した小学校における科学教室」にも協力している。大学教員が県内小学校に講師として出向いて、小学生に出前授業をしつつ現場教員にも指導・助言を行っている。

2 2021（令和3）年度の状況について

2021（令和3）年度前半期も、新型コロナウイルス感染症の流行が続いた。その中で、5月13日に教育センターでの開催を予定して、受講者を確定するなど準備を進めたが、感染者増加のため、9月9日実施（時間短縮、終日から半日）へ変更（延期）、実験を重視するためオンラインではなく対面での開催を目指し、11月17日に再延期するなど、開催への努力を重ねてきたが、諸事情を鑑みて最終的に中止とせざるをえなかった。

「中・高理科観察，実験生物講座及び地学講座」についても、日程調整を重ねてきたが、最終的に中止とした。

「外部人材を活用した小学校における科学教室」については、佐賀大学教育学部ほか理工学部の理系教員が出向き、県内複数の小学校で予定通り開催された。

3 2022（令和4）年度の実施について

「中・高新任理科教諭研修」については、2022（令和4）年度は5月17日に、教育学部の理科関係教員5名（物理、化学、生物各1名、地学2名）が協力し、令和4年度に新規採用された中学校・高等学校の理科教諭を対象者として開催予定、また、「外部人材を活用した小学校における科学教室」も継続して開催予定である。一方、「中・高理科観察，実験生物講座及び地学講座」については2022年度廃止することとした。